

小泉通信

■ 第44号 ■ 平成24年・4月号
■ 発行：山口県議会議員 小泉利治



本会議場で質問中の
小泉利治県議

2012年2月議会報告

平成24年2月度山口県定例県議会は、2月28日開会し、3月16日閉会しました。今回小泉議員は、健康増進と受動喫煙防止の観点から、質問時間30分全てを、たばこ対策について6項目について質問しました。

二月議会・一般質問の要旨（たばこ対策）

たばこ対策についての質問項目

- ① 県受動喫煙防止条例について
- ② 受動喫煙防止対策について
- ③ 民間施設の分煙対策について
- ④ 禁煙の日の普及と告知ポスター及び禁煙シンボルマークの活用について
- ⑤ 喫煙率の数値目標とたばこ対策の推進について
- ⑥ 喫煙防止教育について



【小泉県議】

本県の喫煙率の現状は近年減少傾向にあり、たばこの害についての認識が高まってきていることから、さらなる、たばこ対策の推進が必要と考えるが、知事の所見を伺う

【二井知事】

本県の実情を踏まえた数値目標を設定することなどによりまして、意識の啓発に向けて、広く県民運動として展開をしてまいりたいと考えております。今後とも、たばこ対策をはじめとする健康づくり施策の充実を図り、健康寿命の延伸に取り組んでまいります。

【小泉県議】

社会全体で受動喫煙防止や意識啓発に取り組むことが、今まさに求められていると思う。県民一人ひとりの健康を守るために、市町や関係機関と連携しながら、今後どのように受動喫煙防止対策をされるのか、尋ねる。

【健康福祉部長】

屋外に喫煙場所を設置する場合には、出入口等から10m以上離す取組みを促しているところです。今後とも、市町や関係機関、団体と連携し、受動喫煙防止に向けた取組みを積極的に推進してまいります。

【小泉県議】

毎月22日の「禁煙デー」においても、何か普及啓発活動をしてはどうか。

【健康福祉部長】

毎月22日の禁煙の日における普及啓発活動については、現時点で、県としては特に実施していませんが、今後、市町や関係団体等とどのような取組ができるのか、検討してまいりたいと考えています。



たばこ対策に数値目標を

【小泉県議】

児童生徒の多くが喫煙の健康への有害な影響を考えず、喫煙への関心は少なくないため、学校における喫煙防止教育の一層の充実を図る必要があると考えるが、本県の喫煙防止教育に対する取組について伺う。

【教育長】

県教委といたしましては、学校におきまして、こうした児童生徒の主体的な活動や、ポスター、標語による啓発活動等の取組が、より一層推進され、喫煙防止について自ら考え、判断し、望ましい行動をとることができる児童生徒の育成に向けまして、今後、市町教委や関係機関等と連携して、喫煙防止教育の推進に取り組んでまいります。



【小泉県議】

厚生労働省は、成人喫煙率を10年間で今より4割減らして12.2%に引き下げるとの数値目標を「がん対策推進基本計画」と「国民健康づくり運動」に盛り込む方針のようである。喫煙率の数値目標が初めて明記されたことは、非常に大きいと思う。山口県は全国的にもがんの死亡率が高い県であるので、県内の最新の喫煙率を調査するとともに、地域の実態に沿った数値目標を設定すべきであると思うが、いかがか。

【健康福祉部長】

県では、5年ごとに実施している県民健康栄養調査により、成人の喫煙率を把握してまいります。最近の喫煙率については、平成22年に調査をしており、現在、県独自で調査することは考えておりません。また、数値目標の設定については、来年度「健康やまぐち21計画」等を改定する中で、検討してまいります。

【小泉県議】

健康増進法の枠組みや喫煙者のマナーに期待するだけでは、県民が望むような受動喫煙を防止することは困難である。「たばこの害のない社会」の実現のためには、県受動喫煙防止条例の制定が必須であると思うが、所見を伺う。

【健康福祉部長】

昨年12月、労働安全衛生法の一部改正案が国会に提出され、労働者の受動喫煙を防止するため、職場の全面禁煙または空間分煙による措置を事業者が義務付けること等が検討されていることから、県としては、こうした国の動きを注視していきたいと考えております。

本会議の質疑応答全文の議事録は山口県議会のホームページに全文が掲載されています。

<http://www.pref.yamaguchi.jp>

また、「小泉としはる」のホームページにおいても掲載しています。

<http://koizumi.bz/>

議員活動の日々



消防出初式・中山議長（右）



山口県警の新年視閲式（きららドーム）



新年賀詞交歓会にて
新年の抱負を語る。（ANAホテル）



街頭遊説でスタートを！（フジグラン前）



卒業式にて祝辞を送る（宇部西高校）



各地で語る会を開催、ご意見を伺う（コランド）

福原まつりに参加
（護国神社）



献血に協力



公明党県議団3名で島根美術館を視察研修。東京スカイツターを監修した、澄川喜一館長としばし懇談をしました。



総務委員会視察（沖縄基地）

■ 県外調査視察（平成 24 年 2 月 8 日～10 日）
在沖縄米軍基地の普天間飛行場移設に係る進捗状況及び沖縄県における米軍基地の現状等を調査視察するとともに、米軍基地受け入れに伴う沖縄県内における振興施策の実施状況を調査視察するため、「沖縄県庁、普天間飛行場及び嘉手納飛行場並びに名護市」を訪問しました。



嘉手納基地



普天間飛行場の代替地予定の辺野古海岸、あまりにも美しく、環境を守らなければと強く感じました。



沖縄県議会にて基地関連の説明を受ける。



普天間基地

地域サポート運動（地域の課題解決！）

秋芳町の河川現場
老朽化した橋の補修



道の駅「みどう」駅長
より要望を受ける



小串に信号機
設置されました。



国道 2 号線船木に信号機の要望

山口宇部空港の国際化について要望



宇部市選挙区選出の県議 6 人で、県の来年度予算に絡み、「山口宇部空港における国際定期便就航の早期実現」を求める要望書を二井関成知事宛てに提出した。代表世話人の小泉利治議員（公明）は「党派、会派は違っても古里の活性化は共通の願い。今後も調査や先進地視察、議会活動で実現まで取り組みたい」と話した。

（宇部日報より）